選挙と政党

名前

問1　ある選挙区において、比例代表制のドント式を用いて7つの議席を決定します。3つの政党の得票数が、D党：1260票、E党：720票、F党：600票であった場合、各政党への議席配分として正しい組み合わせを選びなさい。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. D党：3議席、E党：2議席、F党：2議席
2. D党：3議席、E党：3議席、F党：1議席
3. D党：5議席、E党：1議席、F党：1議席
4. D党：4議席、E党：2議席、F党：1議席

問2　選挙制度には、死票の発生しやすさや政権の安定性において異なる特性があります。比例代表制を小選挙区制と比較した際、比例代表制の課題（デメリット）として指摘される点はどれですか。（2024年 岡山県公立入試 類似）

1. 多くの小政党が議席を獲得して乱立しやすいため、連立政権などで政権が不安定になりやすい。
2. 死票が非常に多く発生するため、特定の政党を支持する有権者の意見が無視されやすい。
3. 二大政党制を促進する傾向があるため、有権者の選択肢が狭まってしまう。
4. 選挙区が狭くなるため、候補者と有権者の距離が近くなりすぎて地縁が重視される。

問3　小選挙区制において、当選者の得票数よりも落選者の得票数の合計の方が多くなる傾向がある際、この制度が政治に与える影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 得票率に応じて議席が配分されるため、小規模な政党でも議席を獲得しやすい。
2. 死票が非常に少なくなるため、有権者の多様な意見が議席数に反映されやすい。
3. 第一党が議席の過半数を確保しやすくなり、政局が安定しやすくなる。
4. 特定の候補者ではなく政党の政策を重視して選ぶため、連立政権になりやすい。

問4　1つの選挙区から得票数が最も多い1名の代表者のみを選ぶ選挙制度を何というか。（2016年 富山県公立入試 類似）

1. 小選挙区制
2. 重複立候補制
3. 比例代表制
4. 大選挙区制

問5　衆議院議員総選挙における「比例代表制」の仕組みについて、2021年に実施された選挙の状況を踏まえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）

1. 一つの選挙区から複数の当選者が出る仕組みであり、死票を最小限に抑えることを目的としている
2. 政党があらかじめ順位を決めない非拘束名簿式を採用しており、候補者個人の得票数で当選順位が決まる
3. 全国を11のブロックに分け、それぞれのブロックごとに政党の得票数に応じて議席を配分する
4. 全国を一つの単位とし、有権者は候補者名または政党名のどちらかを記入して投票する

問6　選挙制度において、小選挙区制と比較した際の「比例代表制（ドント式を含む）」の主な目的や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 特定の地域で圧倒的に強い候補者が当選しやすくすることで、地域住民の要望を直接政治に反映させる。
2. 二大政党制を促進し、議会において一つの政党が安定した過半数を確保しやすくする。
3. 得票率と議席率の乖離を小さくし、死票を減らすことで、政党の支持層の意見をより正確に反映させる。
4. 候補者の個人名を重視して投票させることで、政党の看板よりも個人の政治能力を優先して選出する。

問7　日本の選挙において、各政党が「マニフェスト（政権公約）」を作成して公表することの目的として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）

1. 消費者が訪問販売などで不意に契約を結んでしまった場合に、一定期間内であれば無条件で解約できるようにするため
2. 地方公共団体の首長や議員が不適切な行動をとった際に、任期が終わる前に辞職させる手続きを定めるため
3. 政策の実施時期や財源の裏付けを明示することで、有権者が政策の具体性を判断し、事後の検証を可能にするため
4. 国会の多数派を占める政党が、憲法改正の発議を行うための具体的な手順を国民に周知させるため

問8　長野県のある自治体では、10歳代から20歳代の投票率が他の年代に比べて低いという課題を解決するため、バスを活用した「移動期日前投票所」を高校や大学に設置しています。このような取組が行われる主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2026年 長野県公立入試 類似）

1. 比例代表制の仕組みを維持するために、各政党の得票率を一定に保つため
2. 小選挙区制において、特定の候補者が有利になるように特定の年代の票を集めるため
3. 投票にかかる費用を削減するために、既存の公共施設での投票を全面的に廃止するため
4. 若年層が学校生活の合間に投票できる環境を整え、主権者としての意識を向上させるため

問9　日本の政党政治において、政権交代が可能な体制が重要視される理由として、野党の存在意義の観点から説明した文として正しいものはどれですか。（2022年 徳島県公立入試 類似）

1. 選挙を行わずに、話し合いだけで政権担当者を選ぶため。
2. 首相（内閣総理大臣）を世襲によって決定する仕組みを維持するため。
3. 特定の政党が長期にわたって政権を独占し、政治が腐敗するのを防ぐため。
4. 国会の議席をすべて野党が占めることで、法律の制定を速めるため。

問10　ある意識調査の対象者として、十五歳、十八歳、二十六歳、三十七歳、六十二歳の五名が選ばれました。現在の公職選挙法に基づき、この五名のうち日本の国政選挙において投票を行うことができる「選挙権」を持つ人数として正しいものはどれですか。（2025年 茨城県公立入試 類似）

1. 三名
2. 二名
3. 五名
4. 四名

問11　各政党の得票数に応じて議席を配分する「比例代表制」の特徴として、小選挙区制と比較した際の説明として最も適切なものはどれか。（2018年 熊本県公立入試 類似）

1. 二大政党制になりやすく、政権の安定が図りやすい
2. 死票が少なく、少数派の意見が議席に反映されやすい
3. 特定の有力な政治家が、個人の人気だけで当選しやすい
4. 候補者と有権者の結びつきが非常に強くなる

問12　国会における議席数が一つの政党で過半数に達しない場合に、政策などの合意に基づいて複数の政党が協力して組織し、政権を担当する形態を何と呼びますか。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 単独政権
2. 連立政権
3. 二大政党制
4. 連帯政権

問13　現在の衆議院議員選挙において採用されている、一つの選挙区から1人の当選者を選ぶ仕組みと、各政党の得票数に応じて議席を割り当てる仕組みを同時に行う制度の名称として正しいものを選択してください。（2026年 広島県公立入試 類似）

1. 中選挙区制
2. 小選挙区比例代表並立制
3. 大選挙区制
4. 完全比例代表制

答え合わせ・解説

問1	答え 4 D党：4議席、E党：2議席、F党：1議席	ドント式では各党の得票数を整数（1, 2, 3...）で割ります。D党は「1260、630、420、315」、E党は「720、360、240」、F党は「600、300、200」といった数値が得られます。これらを大きい順に7番目まで並べると、「1260(D)、720(E)、630(D)、600(F)、420(D)、360(E)、315(D)」となるため、D党が4つ、E党が2つ、F党が1つの議席を獲得します。
問2	答え 1 多くの小政党が議席を獲得して乱立しやすいため、連立政権などで政権が不安定になりやすい。	比例代表制は少数の意見を拾い上げることができる反面、議会に多くの小さな政党が誕生する「小政党の乱立」を招くことがあります。その結果、一つの政党で過半数を占めることが難しくなり、複数の政党による連立政権の調整が難航するなど、政治の安定性が損なわれるリスクがあります。
問3	答え 3 第一党が議席の過半数を確保しやすくなり、政局が安定しやすくなる。	小選挙区制では、各選挙区で1位になった政党が効率よく議席を獲得できるため、特定の大きな政党が過半数の議席を得て、安定した政権運営を行いやすいというメリットがあります。その一方で、落選者に投じられた多くの票が死票となるため、得票率と議席占有率に大きな差が生まれやすく、少数派の意見が切り捨てられやすいというデメリットがあります。
問4	答え 1 小選挙区制	1つの選挙区で当選枠を1名に絞ることで、最も支持を集めた候補者が当選する仕組みである。この制度では比較的小規模な政党よりも、組織力や支持層の厚い大政党の候補者が当選しやすくなるという特徴がある。
問5	答え 3 全国を11のブロックに分け、それぞれのブロックごとに政党の得票数に応じて議席を配分する	衆議院の比例代表制は、全国を11のブロックに分けて集計する点、および政党があらかじめ当選順位を決める「拘束名簿式」を採用している点が特徴です。参議院の比例代表制（全国区・非拘束名簿式）とは異なる仕組みであるため、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 3 得票率と議席率の乖離を小さくし、死票を減らすことで、政党の支持層の意見をより正確に反映させる。	比例代表制は、各政党の得票数に応じて議席を配分するため、小選挙区制に比べて「死票（落選者に投じられた、議席に結びつかない票）」が少なくなるというメリットがあります。ドント式はこの配分を数学的に処理する手法の一つであり、得票率と議席率をできるだけ一致させることで、多様な民意を議会に反映させることを目的としています。一方で、小政党が乱立しやすく、政局が不安定になる可能性という側面も持ち合わせています。
問7	答え 3 政策の実施時期や財源の裏付けを明示することで、有権者が政策の具体性を判断し、事後の検証を可能にするため	マニフェストは、単なる願望やスローガンではなく、政権を取った際に「いつまでに」「どのような財源で」政策を実行するかを具体的に示した文書です。これにより、有権者は選挙時に各政党を比較しやすくなり、また選挙後には公約がどの程度達成されたかを客観的に評価できるようになります。これにより、人物本位ではなく政策本位の選挙を実現することが期待されています。
問8	答え 4 若年層が学校生活の合間に投票できる環境を整え、主権者としての意識を向上させるため	統計的に見て若年層の投票率は他の世代に比べて低い傾向にあります。学校という身近な場所に投票所を設置し、昼休みなどの隙間時間に投票できるようにすることで、政治参加のハードルを下げることが狙いです。これは、自ら社会のあり方を判断する「主権者」を育てる主権者教育の一環としても重要な役割を果たしています。
問9	答え 3 特定の政党が長期にわたって政権を独占し、政治が腐敗するのを防ぐため。	複数の政党が競い合い、選挙の結果次第で野党が政権を担う「政権交代」の可能性があることは、政治に緊張感をもたらします。これにより、政権を担う与党が国民の支持を失わないよう公正な政治を行う動機付けとなり、長期政権による独善的な政治や腐敗を防ぐ効果があります。このように、野党は常に「次期政権の担い手」としての準備を整えておくことが期待されています。
問10	答え 4 四名	公職選挙法の改正により、日本国内の選挙権を持つ年齢は「満二十歳以上」から「満十八歳以上」へと引き下げられました。提示された五名のうち、十五歳を除く十八歳、二十六歳、三十七歳、六十二歳の四名がこの年齢要件を満たしているため、投票を行う資格があります。この改正は、若年層の声をより早く政治に反映させることを目的として行われました。
問11	答え 2 死票が少なく、少数派の意見が議席に反映されやすい	比例代表制は、政党の得票率に応じて議席を分けるため、当選に結びつかない「死票」を減らすことができます。その結果、小規模な政党でも議席を獲得できる可能性が高まり、多様な国民の意見を政治に反映させやすくなります。これに対して小選挙区制は、1位以外の票がすべて死票となるため、大政党に有利で政権が安定しやすいという特徴があります。
問12	答え 2 連立政権	議院内閣制をとる日本では、内閣を維持するために国会の過半数の支持が必要となります。選挙の結果、一つの政党だけで過半数の議席を確保できなかった場合、他の政党と協力して政権の基盤を安定させる必要があり、この複数の政党による政権運営の仕組みを連立政権といいます。
問13	答え 2 小選挙区比例代表並立制	衆議院議員選挙では、政治の安定を目指して1選挙区から1人を選出する「小選挙区制」と、死票を減らし多様な意見を反映させるために政党の得票数に基づき議席を配分する「比例代表制」を組み合わせた制度がとられています。参議院議員選挙とは異なる仕組みである点に注意が必要です。